

現代に継承する日本文化の粋“京都迎賓館”参観

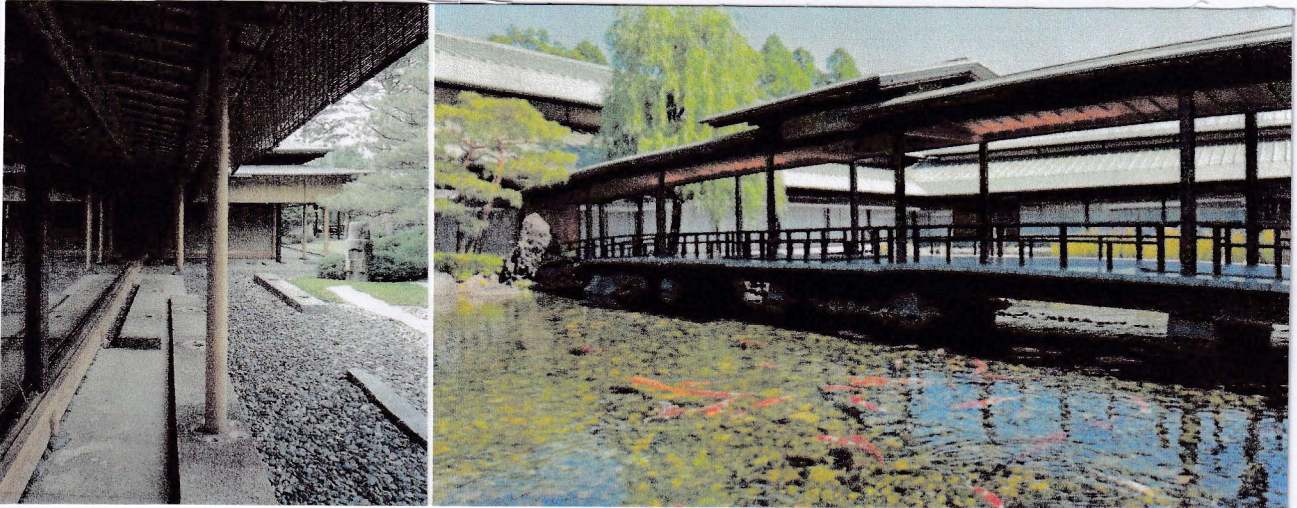
令和5年10月20日(金)

水先案内人: 牧 彰(会員)

私たち日本人にとって、京都は特別な存在です。1,200年に及ぶ長い歳月の中で研ぎ澄まされてきた美意識は、芸術の世界だけに留まらず、日本人の衣食住の隅々にまで行き渡り、ひとつの生活総合芸術ともいべき世界に類のない日本文化を創出してきました。

東京の“赤坂迎賓館”は、文明開化期日本の優れた知識人や匠たちが、持てる能力を結集して成し得た近代建築(1909年竣工、ネオ・バロック様式)の傑作です。

一方、“京都迎賓館”は、海外からの賓客をわが国固有の伝統と文化で真心籠めて“おもてなし”することにより、「日本への真の理解と友好の絆を一層深める」ことを意図して、2005年に開館しました。



“庭屋一如”を体现した緑と水の庭園

“京都迎賓館”は、日本の伝統的建築の技法を現代の工学・工芸技術を駆使して再構成しました。此処の庭は、京都御苑の豊かな緑を借景とし、広々とした池水の中核に時々刻々と様々な表情を変えつつ、周りの環境に融け込むように配慮されています。

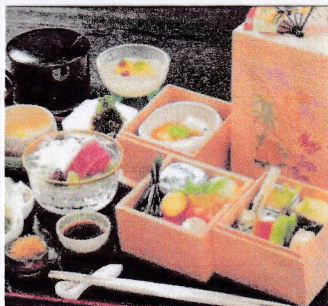
これこそは、古より日本の居住環境に一貫して培われてきた“庭屋一如”の理念なのです。“京都迎賓館”は、四季の変化と移ろいある風土をこよなく愛し慈しんできた先人たちの“自然観と美意識の結晶”でもあります。

知的好奇心頗る旺盛な「街ing いばらき」の皆さん！この国に連綿と息づいている“おもてなし”の心に触れる小さな旅(“京都迎賓館”参観)に繰り出そうではありませんか！？

◇参集地：阪急「茨木市」駅改札口8：30(時間厳守)

◇順路：「茨木市」8：31⇒「烏丸／四条」⇒「今出川」～乾門～御苑(近衛邸跡・猿が辻など)～10：15 京都迎賓館 11：45～御苑(閑院宮邸跡・九条邸跡・鷹司邸跡など)～蛤御門～護王神社～13：00 花ごよみ(昼食)～<京都御所自由観覧(オプション)>～「丸太町」⇒「四条／烏丸」⇒「茨木市」

◇昼の宴：会席風お弁当“花投扇”3,000円 京料理・花ごよみ(075-411-0404)／京都ガーデンパレス 13:00～



会席風お弁当<花投扇>

投扇興は、江戸時代の室内遊戯。寛永通宝12個を蝶形に包んで金紙や銀紙で裏打ちし、金銀の水引を掛けたもの(的玉)を、蒔絵の枕台の上に載せる。

それに12骨の扇を投げて的の落ち具合や扇の開き具合によって勝敗を競う。

投扇者は扇の4倍の長さの距離(約1m)にある投席に正座して、右手で扇の要を先にして投げる。

明治中期頃までは広く行われていたが、現在では京都・祇園などの花街でわずかに行われている。

『広辞苑』

◇参観料：京都迎賓館2,000円(ガイドツアー方式)

◇定員：20名(会員には、会より1,000円の補助あり。)

◇申込先：「街ing いばらき」代表・阪田 浩(080-1436-9881) 申込締切り9月30日

Tel&Fax/072-627-3480 E-mail:ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己責任でご対応ください。